

第24回シンポジウム（中止）  
「ラグビーワールドカップ2019日本大会がもたらしたものの、その遺産」

開催日：令和2年3月11日（水）

場 所：弘済会館 4階会議室「菊」

— 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため中止しました —

○開催趣旨

ラグビーワールドカップ2019日本大会は、アジアで初めて開催されたラグビーワールドカップです。ビル・ボームンド会長からは「記憶に残る最も偉大なW杯で、日本は開催国として最高だった」と評価されました。本大会は、わが国が正しく国際スポーツイベントを主催するに相応しい国であることを証明した大会となりました。

本年の2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、明年の関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催の成功後、その遺産を最大限に活用し、スポーツ人口の更なる拡大、スポーツ産業市場の一層の進展へと繋げることが喫緊の課題となります。2019日本大会の成功の余韻が残る中、「ラグビーワールドカップ2019日本大会がもたらしたものの、その遺産」としてシンポジウムを開催します。

○基調講演

テーマ：ラグビーワールドカップ2019日本大会がもたらしたものの、その遺産

講師：原田 宗彦 氏 早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

○パネルディスカッション

テーマ：ラグビーワールドカップ2019日本大会がもたらしたものの、その遺産

コーディネーター：原田 宗彦 氏 上記掲載

パネリスト：糸川 泰一 氏 スポーツ庁 国際課 課長

田淵 弘晃 氏 東大阪市 スポーツのまちづくり戦略室